

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成30年度】

主管課名(担当名)	教育総務課学校教育担当		
事務事業名	適応指導教室運営経費	事業番号	326
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-4 特別支援教育の充実
	施策目標	子どもたち一人ひとりの教育ニーズに応じた特別支援教育が受けられるまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	児童生徒、保護者
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	根室市適応指導教室「ふれあいくらぶ弥生」において指導員と不登校児童生徒との信頼関係を構築し、生活の立ち直りの支援を行うことや、体験活動や集団活動を通じて、興味関心を広げ、対人関係の改善を図る。	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	不登校児童生徒の一日も早い学校への復帰を支援する。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値 (H27)	実績値					目標値 (H32)	目標値 (H37)
		H27	H28	H29	H30	H31		
1 適応指導教室から学校復帰できた児童生徒の割合	50.0%	50.0%	14.2%	18.9%	20.0%		70.0%	80.0%
2								
3								
4								
事業費(=下記内訳計)		H30予算		H30決算		H31予算		
		1,181		1,174		1,190		
内訳	国道支出金							
	地方債							
	その他	4		3		3		
	一般財源	1,177		1,171		1,187		
人員(人工)		0.04		0.04		0.04		
職員人件費(=人員(人工)×8,081千円)		323		323		323		
総事業費(=事業費+職員人件費)		1,504		1,497		1,513		
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)		75		75				
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)								

#### 4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input checked="" type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	
今後の動向・市民ニーズなど	児童生徒が教育を受ける権利を保障するために必要である。また、近年、小中学校における不登校児童生徒数が増加傾向にあり、不登校児童生徒への支援を図る上でニーズは高まりつつある。

#### 5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	適応指導教室での指導や在籍校による出前授業により社会とのつながりを保ち、学校復帰への足掛かりとなっている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 一部可能 <input type="checkbox"/> 不可能 公的機関に通うことが困難な場合で本人や保護者の希望もあり児童生徒にとって適切であると、校長及び教育委員会が適切と判断した場合は民間、NPO等の活用が可能であるが、不登校となる背景には、いじめや障がい等の問題に起因する場合もあり、組織的な対応が必要である。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない 適応指導教室に通っていない不登校児童生徒への支援は、現状では出来ていないため、支援の在り方について検討する必要がある。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 恒常的に開設する必要があり、最低限のコストで運営している。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 該当する事業が見当たらない。
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す) 可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 既に負担がある 義務教育に係る経費に、保護者負担を求めるのは主旨にそぐわない。

#### 6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (H 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

令和元年6月

## 別紙1

## 事務事業評価(中間評価)シート【平成30年度】

主管課名(担当名)	教育総務課学校教育担当		
事務事業名	特別支援教育推進事業	事業番号	12485
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

## 1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-4 特別支援教育の充実
	施策目標	子どもたち一人ひとりの教育ニーズに応じた特別支援教育が受けられるまち

## 2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	障害のある児童生徒及び保護者
	対象者の今後の予想	増加傾向
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	特別な支援を必要とする子どもたち一人ひとりの教育ニーズを把握し、生涯にわたる一貫した支援を実現するため、教育・保健・福祉等の各分野をつなぐ役割を担うことを目的として、根室市個別の教育支援計画の配布、教育相談室りんくすの開設及び特別支援教育専門員を配置する。	
意図 (どの様な成果を得ようとしているのか)	生涯にわたり支援が途切れることなく、子どもたちが地域で生活し、自立して社会参加をできるようにする。	

## 3 事務事業の現状

活動指標名	計画値 (H27)	実績値					目標値 (H32)	目標値 (H37)
		H27	H28	H29	H30	H31		
1 子育てファイルりんくす・ねむろの配布率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
2 教育相談室の利用者数	20件	56件	56件	15件	17件		40件	50件
3 特別支援教育に関する研修会の開催回数	3回	5回	3回	2回	2回		3回	3回
4 特別支援教育支援員の配置人数	7名	7名	6名	9名	11名		11名	11名
事業費(=下記内訳計)		H30予算			H30決算		H31予算	
		4,892			4,641		5,175	
内訳	国道支出金							
	地方債							
	その他	9			16		5,175	
	一般財源	4,883			4,625			
人員(人工)		1.00			1.00		1.00	
職員人件費(=人員(人工)×8,081千円)		8,081			8,081		8,081	
総事業費(=事業費+職員人件費)		12,973			12,722		13,256	
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)		130			127			
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)		763			748			
単位コスト実績値 3(=総事業費÷成果実績値)		6,486			6,361			
単位コスト実績値 4(=総事業費÷成果実績値)		1,179			1,156			

#### 4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	■検討中 □見直し・改善済み □見直しをしたが改善に至っていない □検討していない
見直しの内容など	教育支援計画ファイル「りんくす・ねむろ」の利活用促進に向けた様式等の改訂
今後の動向・市民ニーズなど	根室の子どもたちの成長を関係する課の垣根を越えて、切れ目無く一貫した支援をすることが出来る。そのために各課において主体的に活用し、個に応じた支援を充実させる必要がある。また、教育相談室を開設し、専門員を配置することで、保護者の不安や悩みが解消されることから、ニーズは極めて高い。

#### 5 事務事業の評価

	■結びついている □一部結びついている □結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	全ての子どもたちに対して、一貫した教育支援の充実を図る上で効果がある。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	□可能 □一部可能 ■不可能 教育・福祉・保健などの分野が連携する必要があることから、市以外での実施は不可能。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	□ある ■一部ある □ない 教育支援計画ファイル「りんくす・ねむろ」の利活用促進に向けて、関係機関との更なる連携強化を図り、特別な支援を要する子どもたちの早期発見・早期支援に繋げる取組を検討する必要がある。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	□ある □一部ある ■ない 最低限のコストで行っている。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	□ある □一部ある ■ない 教育・保健・福祉で実施しているため。
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す) 可能性はありますか	□ある □検討の必要性がある ■ない □既に負担がある 子育て支援ファイルの配布及び相談業務は無料であり、負担はない。

#### 6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	■現状のまま継続 □見直しのうえで継続 (□拡充 □手段を見直す □効率化 □簡素化 □統合・振替) □終期設定あり (H 年度末終了予定) □休止 □廃止 □完了
--------	---

作成年月日

令和元年6月